

# 【公立大学法人横浜市立大学平成20年度年度計画概要図】

中期目標・中期計画期間（17～22年度）

17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
------	------	------	------	------	------

【中期目標】・横浜市立大学が市が有する意義ある大学として、市民が誇りうる、市民に貢献する大学となること。実践的な国際教養大学となること。

●次期中期計画の策定や21年度の認証評価の対応を視野に入れ、中期計画の達成度に見通しをつけ、計画を推進します！

●組織間の枠を越えた連携・協働により課題の共有と解決を図ります！

教育重視

学生中心

地域貢献

## 教育

■情報教育環境の整備や進路相談体制の充実等、学生支援の取組を進める。

17→推進→22

◎全学的な情報教育の方針・体制整備の検討

・進路相談充実のためのキャリア相談員の養成、学生キャリアメンター制度の拡充

・施設整備・アメニティーの向上による学習環境の改善

・学生相談を含む保健管理センター機能の強化

・成績優秀者特待生制度の運用・拡充に向けた検討

・効率的な入試実施制度の確立、推薦入試の検討・実施

・FD支援・教員評価制度の運動

■学部：新学部・学科として初の卒業生輩出・医学科定員増への対応について取組を実施する。

～19 新学部運営 | 20 検証・準備 | 21 コース見直し

\* 共通教養教育

◎4年間の教育成果の検証及び教養教育のあり方検討

【国際総合科学部】

◎専門教養ゼミにおける英語による授業の50コマ開講《新規》

・学部の教育理念・目的を実現させるためのコース別コアカリキュラムの策定《新規》

【医学部(医学科・看護学科)】

◎地元医療関係者の招聘による地域医療・医療対策に関する授業の展開《新規》

・臨床実習における地域医療機関との連携強化

■大学院：学部教育に対応した新研究科設置の準備や、外部機関との連携を推進する。

19 検討 | 20 設置準備 | 21 設置

【国際総合科学研究科】

◎高い実務能力を備えた専門家の育成を目指す新研究科設置に向けた準備《新規》

・協定を締結している外部機関との研究協力・人材交流システムの強化

【医学研究科】

◎研究指導を含んだ理研との連携大学院の構築《新規》

・医学研究の医療への展開を視野に入れたFDA等の研究機関との連携強化

社会が求める人材の育成

研究成果を教育へ反映

★国際化 “世界に開かれた大学づくり”

■大学全体の国際化を促す体制を構築し、外部機関との交流・連携を活性化させる。

17 調査 | 20 体制整備 | 21 実施

◎英語授業の増加によるカリキュラムの国際化《新規》

・海外協定校での取得単位の認定や奨学金等に関する検討  
・金沢国際交流ラウンジの活性化  
・市大カフォルニアオフィスの有効活用  
・FDAとの教育・研究面における連携推進

◎医師確保策の具体化、医療情報の発信等を通じた地域医療の向上

・体験型講座の開講等による多様な学びの機会の提供  
・産学連携による知財の社会への還元  
・高大連携による学生・市立学校教員への支援  
・大学施設の開放

■地域医療の向上や生涯学習・高大連携事業の拡充により、市民にとって意義ある大学を目指す。

17 多彩な講座実施 | 20 充実

★地域貢献 地域ニーズへの対応

## 研究

■産学連携を促す体制を整備し、外部機関との連携や人材育成事業を強化する。

17 推進 | 20 体制整備 | 21 充実

・重点研究分野間の融合など強みを活かした研究の創出  
・知的財産管理体制の安定的な維持  
・共同研究・国家プロジェクトの獲得を推進する体制の整備  
・FDA等外部機関との基本協定に基づく人材育成・共同研究の実施

◎先端医科学研究センターにおける民間企業等との共同研究の促進

## 病院

◎治験支援体制の強化  
◎医師不足分野における医師の育成と確保  
◎災害時対応要員のための施設確保

・電子カルテの導入  
・研修医控室等の整備  
・がん診療体制の充実・強化  
・病院機能評価の受審及び病院機能改善の取り組み

■がん治療の機能を強化し、地域医療の充実を図る。

20がん治療の機能強化 | 21 推進

## 【法人の運営】

◆教員評価制度の円滑な実施 ◆寄附金事業の本格実施 ◆自己点検・評価の全学的な取組体制の整備《新規》  
柔軟な予算執行を促す予算執行管理システムの構築 ・ 職員を含む人事考課制度の構築 ・ 環境管理計画の策定《新規》 ・ 安全衛生管理体制の確立